

【補足資料】

■技術的特長

①マーカー不要

端末がその場で認識対象を学習することにより、遠隔地から送られた指示を目の前の現場映像とリアルタイムで重ねカメラの動きに追従することが可能。直感的な指示を実現、指示内容の聞き間違いや思い違い等のミスを軽減。

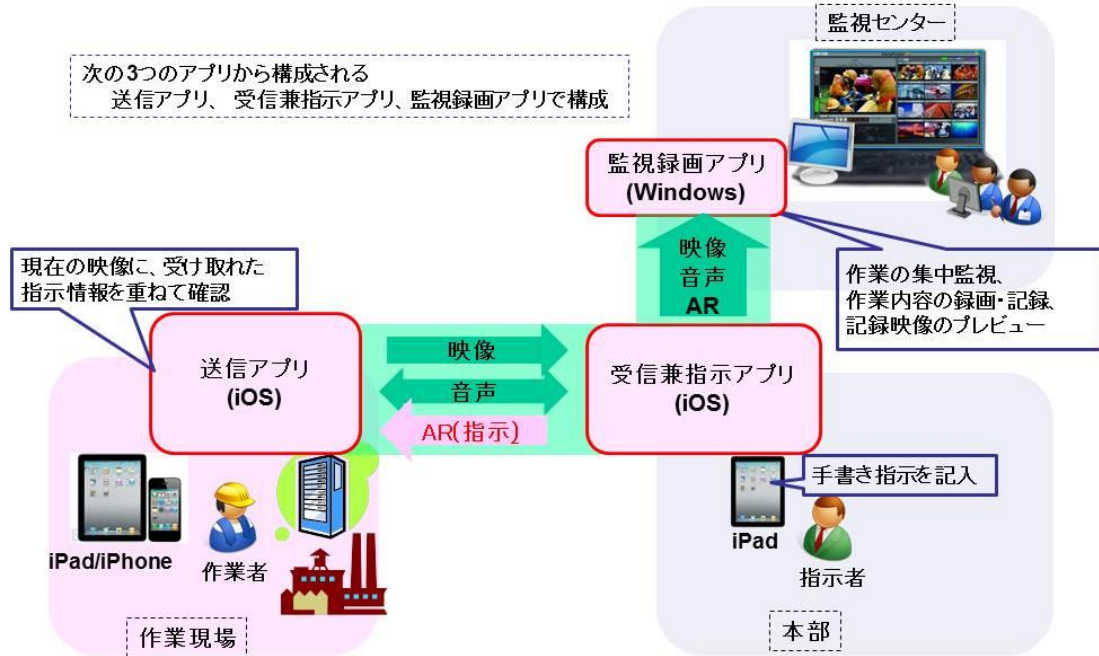
②対象物の検出と追跡

認識対象の何通りもの見え方から学習した特徴量の最適配分により、高精度に任意の方向からの認識が可能。様々な位置・方向からでも、リアルタイム撮影した動画にぴったりとAR指示の重畳が可能。

③リアルタイム処理でAR専用サーバー不要

高速な特徴量検出と頑健な追跡のハイブリッド構成により、高速、軽量の処理を実現。通常必要となるAR専用サーバーが不要で、スマートフォン・タブレットのみで高度なAR処理が可能。

システム構成



特長

- ① 手書き指示が現場のライブ映像に「ぴったり」追従可能。
(斜めからでも、近づいても、離れても、画像認識)
- ② AR用の外部専用認識サーバが不要。
(速い応答レスポンス、端末同士の簡単なシステム構成で実現)

